

Incidence of Inadvertent Intraoperative Hypothermia with Continuous Air Forced Active Warming. Single Center, Retrospective Study

メタデータ	言語: en 出版者: 公開日: 2020-01-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 湯本, 充規子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032435

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 2991 号	氏 名	湯本 充規子
審 査 委 員 会	主 査 教 授	三谷 昌平	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>低体温は様々な手術において心血管系合併症の発生や創部感染および出血量の増加と周術期の 3 大合併症の発生率を増加させることは、これまでも報告されている。加えて術後回復や入院期間の延長などとの関連も示唆されている。これらより麻酔科医にとって術中の体温管理は安全性および麻酔の質において非常に重要な分野である。このため近年、多くの麻酔科医は低体温予防の意義を理解はしているものの、未だ積極的体温管理がすべての施設で行われているわけではない。この積極的な体温管理のために一般的なのが温風式加温機であるが、いままでに温風式加温機がどの適度低体温の予防に寄与しているのかはっきりとした報告はなされていない。そこで温風式加温機を積極的に使用している当院での体温管理の実態と低体温発生率や体温管理および低体温に対する認識を検討した。</p> <p>学位申請者は精査したデータによってプレゼンテーションを行い、研究科委員会及び主査・副査の審査に合格した。</p>			
<p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			